

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	対面で運営推進会議が難しい場合は、書面での開催も可能と思われる。 ホームの取り組み状況を参加予定者に送付し、意見をもらうなどのやり取りが望まれる。	新しい場所なので一堂に集まって頂き、施設内や利用者の状況、催し等を見て頂き施設への理解を得て今後に繋げていくようにする。	前所では、定期開催が常態化していたが年度後半に入り施設居住移動とコロナの関係があり後手に回った感がある。 新しい役員の方々とも密な連携がとれ継続できるようにする。	3ヶ月
2	33	重度化や終末期に向けた方針を明文化し、家族の同意を得ることが望まれる。	今後も継続して関係するの方々には、早めのお知らせをし同意を得るようにします。	ご家族のおられない方がほとんどで生家に戻ったことがない。その中ご家族や関係するの方々には早い段階で説明している。今後は更に明文化していきます。	3ヶ月
3	35	コロナ禍ではあるが、訓練を継続する工夫を検討することが必要と思われる。 業務計測計画(BCP)の策定も期待したい。	地域の避難場所や距離は実際に確認してみる。	地域の方々の協力を得ながら新しい住居からの避難方法や避難場所、その距離など関わり事を検討していきます。	6ヶ月
4	40	夕食の時間が16時30分と少し早いのではないかと思われる。再検討も期待される。	より充実した人員整備が出来るようにしていきたい。	夕食時間について何度か検討しているが、職員が各棟一名で対応することになり車椅子、ベッド食等あり現状になっている。	10ヶ月
5					ヶ月